



ダブル処女のパンスト学園

神聖な風紀委員室でピコピコハメる2人のお嬢様たち

成人向けCG集
基本CG12枚 本編枚数275枚





藤堂 彩音 (とうどう あやね)

身長:162cm

B95/W60/H94 (Hカップ)

風紀委員会に所属している黒髪の女の子。
頑張り屋で一生懸命な性格の持ち主。

少しドジなところもあるが
風紀委員長として学内の風紀を
正そうと頑張っている。

一人っ子で弟か妹が欲しいと思っていた。
それが影響して、風紀委員会に入ってくれた
後輩の正則と舞子を可愛がっている。





御子柴 舞子 (みこしば まいこ)

身長:160cm


B92/W59/H91 (Gカップ)

風紀委員会に所属している
クリーム色の髪を持つ女の子。
勝ち気で快活な性格の持ち主。

正則とは幼馴染で昔から仲が良い。
風紀委員会に正則が入ることを知り
自分も風紀委員になろうと思った。

父親が社長のため、実家はお金持ち。
ただし、自分が使うお金はできるだけ自分で
稼ぎたいと思い、アルバイトをしている。





物心がついた時から
パンストが好きだった。

そんな俺が入学を決めたのが
女生徒はパンストの着用が必須の
とすぎかがくえん
戸須坂学園（通称：パンスト学園）だった。

まさのり
また正則と同じ
学校に通うこと
になるなんてね…

なんだか
不満そうだな…

俺は幼馴染の舞子と
一緒に嬉しいけど



そ、そうなんだ…ふーん

とき
とき
とき

彼女の名前は
みこしば まいこ
御子柴 舞子。

舞子とは幼馴染の関係で
小さい頃から仲が良く、
ずっと同じ学校に通ってきた。

入学初日の今日も一緒に
登校することになり
今に至る。

校門に着くと、部活動誘いの
上級生たちがたくさんいて
歩きづらかった。

部活とかに
入る予定あるの？

いや
特にはないな

パンスト姿の女生徒と学園生活を
送りがかった俺にとっては、
入学できただけで大満足だった。

そのため、入学した後のことは
特に何も考えていなかった。

ガクッ
ガクッ

ガクッ
ガクッ

皆さん！

新入生が困っているのもっと道を開けてください

あっ
あれって…

知り合いか…？

舞子の視線の先には「風紀委員長」と書かれた腕章をつけている女生徒がいた。

その女生徒は舞子の顔を見ると嬉しそうな様子で近づいてきた。

あら
舞子ちゃん！
入学、おめでとう

うん
ありがとう、
あやね
彩音ちゃん

そちらの方は…もしかして
さくま まさのり
佐久間 正則さんですか？

えっ
あっ…はい
なんで知ってるんですか？



噂はよく舞子ちゃんから
聞いているんです

正則さんのことを
話している時の舞子ちゃんって
すごく嬉しそうなんですよ

メ

ちよっ
今はそういう話は
いいから……!

ごめんなさい

自己紹介が
まだでしたね

私の名前は藤堂彩音、
この学園の風紀委員長を
務めております。

とうとうあやね

舞子ちゃんとは親同士の
仲が良くて、小さい頃からの
知り合いなんです

親同士の仲が良いってことは
この人の家もお金持ちなのかな？

舞子の父は
大手家具メーカーの社長で
彼女の家はとて大きい。

そんな舞子の父と
仲が良いということは
藤堂さんの親もお金持ち
なのかもしれないと思った。

正則さん、これからは
私とも仲良くしてくださいね

あ、
私のことは気軽に
「彩音」と呼んでくれて
大丈夫ですよ

えっと
それじゃあ…彩音さん

はい
よろしくお願ひしますね♡

こうして俺の学園生活は始まった。

クラスに仲が良い友人が
少しずつできてきて、
楽しい毎日を送れている。

舞子とは違うクラスに
なつてしまったが
授業以外の時間は
一緒にいることが多い。

—————

俺と舞子は風紀委員会に入ることにしたからだ。

ふふっ
新しく風紀委員が二人も入ってくれて嬉しいです

メ
私たちが三人で風紀委員会を盛り上げていきましょうね！

あ
先に言っておくけど私、バイトのシフトの時は休ませてもらおうからね

ええ
その時は正則さんと二人で頑張ります



舞子は自分で使うお金は
できるだけ自分で
稼ぎたいという考えから
アルバイトをしている。

家がお金持ちなのに
自分で小遣いを得ようとすることは
素直に立派だなと思ってしまう。

舞子がアルバイトのため
先に下校していた時の
風紀委員室でのこと。

んー
届かない…

ぐわぐわ!!

俺が代わりに
取りますよ

風紀委員室で彩音さんが
棚の上にあるダンボールを
取るうとしていた。



特にやることのなかつた俺が
代わりに取るうとしたが
そのダンボールは想像以上に重くて――

あ、
ヤバ……!

危ないっ!



俺と彩音さんは床に
倒れ込んでしまった。

ごめんなさい
手を貸して
もらったばかりに…

もじ
もじ

いえ、気にしないでください

それより、怪我とかは
ないですか？

どろろ

はい
大丈夫です

正則さんが私を
かばってくれましたから

だったら
良かったです

はっ♡♡

ドキ
ドキ

彩音さんの身体はとてもしんどく
一緒に倒れ込みはしたが
俺の方も特に身体
痛みなどはなかった。

ただ

彩音さんのパンツが
見えちゃってる……！

パンスト姿……
本当に似合ってるなあ

ちようど股間部分が
彩音さんのパンストに
当たっていることもあり
俺はどんどん興奮してしまっただ。

あつ、ヤバイ……

ウカウカ

ひひひ

あれ
正則さん、
何か硬いものを
持っていますね？

あ、
いや、それは……

何ですか、
これは？

おっおっ

おっおっ

勃起したことが彩音さんに
バレてしまったようだ。

ただ、彩音さんは勃起だとは
わかっていなかった。

いけませんよ

風紀委員が学園内に
不必要なものを持ち込んで

いや
それは…

言い訳をしてもダメです

はあ

あつおまおじいお
膨らんでませんでした

何を隠し持ってるんですか？

そり言つて彩音さんは
俺のスポンのチャックを下ろした。

おははは

ははは

ズ

キーン

♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

ブルブル

えー？
な、なんですか……
これは？

はまめ

チンチン

もしかして
チ●コのこと、
知らないのか……？

彩音さんは俺のチ●コを
見つめながら戸惑っているようだった。

もしかして…チ●コを
知らないんですか？

チ、チ●コ…？

キキキ

はい…

あ、
男性の人に
ついていう…
性器…のことですか？

もじ
もじ

ガ
ガ
ガ

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

ひひひ

そ、そんな…
まさかこれが…

私…見るのも触るのも
初めてで…

ま
ま
知らなかったのなら
しようがないですよ…

はー

チチチチ

クスクス

いめんねら…

彩音さんの誤解を解くことができ
ひとまず安心したのだが――

でも

チ●コが大きいままだと…

他の人も正則さんが
何かを隠し持つてるって
勘違いしちゃうかも…

あの、どうすれば
元通りになりますか？

んっ

んっ

えっ
えっと…射精をしたら
勃起は治まると思います…

射精…？

オキ

あ、

チ●コを刺激してもらえたら
射精できると思います

放っておいてもチ●コは
小さくなるが射精を
してしまった方が
すぐに勃起は治まる
と思った。

んんん

わかりました
やってみますね

んんんんん

そう言うので彩音さんは
ゆっくりと手コキを始めてくれた。

何か先っぽから…

はぁ……♡

コスコス

ムムムムムム
と

ハリハリ

グズグズ
グズグズ

彩音さんの手…
スベスベで柔らかくて…
気持ち良すぎる…!!

彩音さんの無知に
付け込んでいるようで
悪い気もしたが、この快感を
もつと味わいたらと思つてしまふ。

なんだか…どんどん硬く、
熱くなってる気がします…

大丈夫…なんですか？

女

もじ

もじ

シクシク

ヒクヒク

ブルブル
しりり

はい
大丈夫です…!

はぁ

そうですか…では
続けますね

はあ……♡

チ●コ
チ●コ

しゅんしゅん

はりはり

なんでだろう……
チ●コを触っていると
身体が熱くなっちゃう

チ●コを握る彩音さんの
手の動きが徐々に加速していき
俺の興奮も増してゆく。

はっ♡♡

しゅんしゅん

ぬるぬる

手の動きを速くした方が
刺激も増しますよね？

うっ…くう

あっ
痛かったですか？

キーン

グル
グル

しゅ
しゅ
はっはっ

はっはっ

はっはっ♡
はっはっ♡

いえ
気持ちよくて…
そのまま、お願いします

はあ

んっ

わかりました

チ●コ…ビクビクって
震えてますね

んんん

これは…えつと…?

ん

射精に近い…
ということですか

ぬる

んんん

んんん!!

んんん

んんん♡
んんん♡



んんん

そうなんですネ…

じゃあ、もっと速く、
手を動かしていきますネ

くう…くう

彩音さん…
もう、射精しそうです

えっ
あつ…
わかりました…!

イビキイビキ

ハリハリ

ぬる

はあ

んっ



射精が何か
よくわからないけど…

でも、正則さんのために
射精…させてあげないと

…射精してください！

射精、射精…！

彩音さん…いくつ

はっ♡♡

あぁ♡♡

コスコス

ぬる

しゅるしゅる

はっはっ

♡♡♡♡♡♡♡♡

カカカ

かき
モノ
ボン

きんぎょ



んっ
こ、これが…射精？

白なので…手が
ドロドロ…

す、すみません…!!

精液まみれになつてらる
彩音さんの手を見て
俺はただ謝ることしか
できなかつた。

はっ♡

スキスキ

はなぬ♡

ドゾッ…

カカカ

ドゾッ

あっ
チ●コが少し
柔らかくなったような...

はあ...♡

ん♡

それなら
よかったです

はい
おかげさまで...

とろ♡

とろ♡

ちち



精液、拭かないと…

ん
ん

あつ、これが精液
なんですわね…!!

んん

正則さんは
寝てていいですよ

私が拭くものを
取ってききますから

ズチャママ♡

彩音さんが立ち上がるうとした
その瞬間、風紀委員室の
扉が開いた。

あー

ガ
チャ

いやー
忘れ物しちゃった……つて



えええええつ！

ん
ん

ズググッ

部屋に入ってきたのは舞子で
彩音さんによって射精させられた
俺を見て、驚きの声をあげた。

舞子、とりあえず
落ち着け

いや
無理でしょ
こんな状況で!

びー

びびる

ガ
チ
カ

そう言いつつも、舞子は
扉を閉め、鍵を掛けてくれた。

はあ

彩音ちゃんがこういうことは
無知っぽいと思ってたけど

まさか…ね

精液を拭きとり、衣服を正した後、
舞子に事情を説明すると
彼女は状況を理解してくれたようだった。

私、チ●コのこと
よく知らなくて

もじもじ

彩音さんの口から
チ●コって言葉が出ると
妙にドキドキするな…

ちよ
あのね、彩音ちゃん

あまり、チ●コとか
言わない方がいいからね

えっ
では、なんと呼ぶば？

…そ、それは
ともかく！

今日のことは
絶対三人の秘密だから！

そうしよう

わかりました
秘密ですね

そうして、舞子は忘れ物を取り、
風紀委員室を出て行った。

……正則が彩音ちゃんと
エッチなことをするなんて……

このままじゃ……正則を
取られちゃうかも……

……ただ待ってるだけじゃ
ダメみたいだね

翌日のmaw。

彩音さん、遅いな

委員長会議が
長引いてみるみたいね

今年になって初めて
開かれるらしいし
議題も多いみたいだから

俺と舞子は風紀委員室で
やることもなく、
ただ雑談を続けていた。

バイトはけっこう
忙しいのか？

まあね、私は
始めたばかりだから
覚えることも多くて大変だし

ママ
舞子ならすぐに
覚えられそうだけどな

昔から頭も良かったし

小さい頃から同じ学校に通い続けてきた舞子のことを俺はよく知っている。

そんなこと言っ
てあんただってこの学園に入学できたじゃない

××

偏差値、
けっこう高いのだ

ま
ま
かなり努力したからな

パンストが好きなのは
何としてもこの学園に入学したくて
必死に勉強をした。

それくらい
パンスト姿の女子が
好きってことね

ああ
その通りだ……えっ!?

キョトン……

なぜ、俺が
パンスト好きであることを
知っている…？

あはは
何、その顔？

幼馴染なんだから
あんたがパンストが好きなの
ことくらい知ってるわよ

キ

絶対にバレていないと思っただ俺は
動揺を隠すことができなかった。

ぶる
ぶる

な、なんことやら……

あ、ふーん、認めないんだ

だったら、あんたの
身体に聞いてあげる

舞子は俺をソファに押し倒し――



あーん

あーん

んんん

うう…舞子のパンスト
めちやくちやいい匂いがする…

俺にパンストを
押し付けはるよらなまごうかた。

あーん
あーん

あーん

興奮が徐々に増していき
チ○コに血が集まるのでん。

あ、私のおっぱいで挟んでもらえてるのも興奮してる理由かな？

えっ、今、パイズリされてるのか？

ゴゴゴッ

うん 私、チ●ポを余裕で挟めるくらいおっぱい大きいしね♡

おっぱいおっぱい

たぶ たぶ

服の上からでもわかるほど舞子は巨乳でそんな彼女にパイズリをされていることを思うとさらに興奮してしまふ。

んっ♡

んっ

もみもみ

ハリハリ

あーあ
もう、すつごく硬く
大きくなつちやつてるよ

正則のチ●ポ♡

この前、彩音ちゃんが
してあげたみたい
に私が射精させて
あげて元通りにして
あげないとね♡

チ●ポ
チ●ポ

♡♡♡♡♡

おっぱ

おっぱ

おっぱ

あーんっ



ちゅっ♡

んっ

ふーっ

4270

正則のチ●ポ…
大きいよお♡

ぐわんぐわん



んっ♡んっ♡んっ♡

んっ♡

んっ♡

うああっ!

手揉み
おっぱい

おっぱい

亀頭が温かくて湿った何かを包まれて震えるような快感が身体を駆け巡る。

ヌメヌメした何かが
出てきたよ、正則

これが…我慢汁かな？

幼馴染の舞子と
まさかこうゆうことをするとは
思っでいなかったのもあり
俺は返答が思いつかなかつた。

あうっ

とろ…

ぬる、

おま

ちゅっ♡

ぬ♡

ねえ、正則…

おま

私のアソコ…
舐めてよ

もみもみ

かりかり

ええっ…!!

だって、ずるいじゃん

私は正則のチ●ポを
舐めてあげてるのにさ

かりかり

お尻

お尻

お尻

お尻

正則にも…
舐めてほしいな

でも
パンスト越しで
舐めるのか...?

ぞりぞり

えっ
ムジンド...?

あ
破いていいよ
私のパンスト

うん
だから...お願い

ちゅぽっ

まみち
まみち

ちゅぽっ

ちゅぽっ

ちゅぽっ

ふーっ

...わかった

そんなことを考えながら、
舞子の肌を傷つけないように
ゆっくりとパンストを破いた。

あっ

ん

ん

ゼク
クェ

チ
ン
ン

やってみたいと思っていた
パンスト破りをできるなんて…

もみ
もみ

くばあ

ズ
ズ
ッ

マ●コ

お●お●

ちちち

マ●コってこんな
見た目なのか…

綺麗なピンク色をしたマ●コは
軽く湿ってらで、ピクピクど
生き物のように微動してらた。

それじゃあ…舐めるぞ

お●お●

お●お●

ちちち

うん…♡

♡

お●お●



もつと、舐めて
私も舐めるから♡

ちゅっ♡
ちゅっ♡

ちゅっ♡

くすぐつたい…けど
なんか…気持ちいい

あっっ

はっ♡

ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ



ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ

んあつ…

ちゅっ♡

舞子のマ○コからは愛液が
漏れてきてらして、独特な味が
回の中に広がってるってらった。



ちゅっ♡

ふーっ

乳首

干お

ずりずり

ビリビリに破れた舞子のパンスト。
綺麗なマ○コとアナルの
視覚的な刺激もあって
徐々に限界が近づいてくる。



ブルブル

おっぱいでもっと
ギョッとしてあげて...
チ●ポの色んなところを
私の舌で...♡



あん♡

はあ...♡

ずりずり

カカカ

...♡

おちんちん

んっ

んっ

おちんちん

んっ

だから...いっぱい
出しているから...!

受け止めてあげる

舞子...俺...!

おちんちん

んっ

んっ





ゴクゴク

おっぱい

んっ…んっ

ちちちち

とろろっ♡

すまん…まだ出てる…

びんびんっ

うう…くう

舞子は尿道に残った精液も
吸い取るようにフェラを続けた。

はあ…♡

ぐくぐく

びんびん♡

ふーっ

ブルブル

敏感なチ○コを舐め続けられて
声が出そうになつてしまつたので
舞子のマ○コを舐めることで
なんとか我慢した。

ねえ
一回、射精したら
チ●ポって小さく
なるんじゃないの？

…普通は
そうなんだけどな

ということとは
今は普通じゃないんだ…

…ちよつと嬉しいかも
私で興奮してるって
ことよね

あうっ

はあ……♡

あわあ

はあ♡

ドゥ

ビクッ
ビクッ

ビクッ♡
ビクッ♡

この機会に私……!

ふーっ

ちゅ
ちゅ

ムリ
ムリ

も、もう……だったら
また射精させて
あげないとよね

え……?

舞子は身体を起こして
俺に向き合うような位置に
移動をした。



ブルブル

ドキドキ
ドキドキ

えっ……?

エッチ……しよ

カ
カ
カ

ド
ド
ド

この続きは、本編でお楽しみください！！